

様式 4

平成 29 年度 第 2 回学校関係者評価報告書

鳥取県立鳥取湖陵高等学校  
校長 濱崎 公嗣

評 価 日	平成 30 年 2 月 21 日 (水)	
	評 価 ・ 提 言	学校の所見・改善策等
<p>1. 今年度の自己評価について</p> <p>(1) 重点目標の達成状況</p> <p>○学力向上の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高3での就職試験・進学試験へ向けた学力向上は高校3年間だけで考えるのではなく、小→中→高と長いスパンで学力向上に取り組むべき。</li> <li>・鳥取県は全国一人口が少ない。「人口が少ない」＝「教育が行き届く」と自信をもって取り組んでほしいし、新しいことをどんどんやるだけでなく今までのことを思い切ってヤメル勇気も持ってほしい。</li> <li>・小中学校の全国学力学習調査の結果では、生活環境と学力の関係がよく表れている。</li> </ul> <p>○ICT教育の推進について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校説明会で「ケータイなどを持たせないよう」保護者の方へお願いをしても、「スマホ」「iPad」などを多くの生徒が持つってしまうのが現実。しかも7割近くの家庭ではその「ルール」が決められていない。帰宅後スマホゲームやラインが3～4時間、とても家庭で学習ができる状況にない。</li> <li>・ライン等のトラブルが年間 20～30 件。その都度学校で対応する。個人所有のものでのトラブルに学校が介入することに疑問を感じている。</li> <li>・保護者対象の通信端末の研修会をするが、参加者が非常に少なく、大変苦慮している。</li> <li>・保護者研修会を強制することはできないか？ →中学校・高校ともに厳しい状況にある。</li> </ul> <p>○キャリア教育の推進・開かれた学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取湖陵高校の教育内容なら社会とつながる交流ができる。生徒が自分への評価を実感でき、自信をつけることができるような交流となしてほしい。これが3年間積みあがって大きな学力・人間力になると思う。</li> <li>・公民館では今年度も鳥取湖陵高校で味噌づくりを体験した。生徒さんが先生役になったり、他の加工食品や花・花壇なども郊外で発表してみてもどうか？</li> </ul> <p>○活力ある学校づくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校では、「水曜日部活なし・家庭学習の日の設定・土日は1日以上休み」を実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は漢検を全員受験とするなど、資格取得を核として家庭学習の充実学力の向上を図りたい。</li> <li>・高校でもネットトラブルは起きている。しかし、情報科学科でのトラブルはない。</li> <li>・花壇づくりは湖山西小学校で生徒が先生役となる交流授業を実施している。来年度は賀露小学校でプログラミングの交流授業を計画している。このように鳥取湖陵高校で学んだことを地域・社会でアウトプットする取り組みを進めていく。</li> <li>・部活動休養日の設定など取り組む予定。</li> </ul>

(2) 説明・公表について

・特になし

2. 今年度の県立学校裁量予算による特色ある学校運営の状況について

・湖陵フェスタは今年も寒かった

・「学びあい」についてのアンケートで生徒の肯定意見が減っている。  
理由はなにか？

3. 取組改善のための提言

・厳しい頭髪・化粧指導は素晴らしい。取り組む中で様々なしんどさがあると思うが、最終的には生徒一人一人のためになることだ。今後もぜひ続けてほしい。中高での取り組みに一貫性があり、中学校も指導がやりやすくなる。

・服装指導について、「なぜそうするのか」理由をよくわからせて、ぜひとも定着させてほしい。

・アルバイトの決まりは？

・小遣いを稼ぐアルバイトが横行するのはいかがなものか。学習・部活など若い時にしかできないことが大事である。

・来年度は時期を早めたい。

・確かに、生徒アンケートはすべての項目にわたって肯定意見が1割弱減っている。

研究授業を見る限り、授業の質は向上している。

現在、学びあいは日常的で、その内容を高める段階にある。

・「アルバイトは原則しない。」だが、成績・家庭状況などで多くのアルバイトを認めている実態にある。来年度は実態も「アルバイト禁止」としたい。